

教科名	科目名	履修学年	履修区分	単位数
家庭科	家庭基礎	2年 公務員コース	必修	2

目 標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身に付ける。</p>
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）
授業形態	講義形式及び実技形式で行う。
評価規準	<p><知識・技能> 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解 するとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p> <p><思考・判断・表現> 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだし、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。</p>
評価方法	単元テスト、作品提出、授業・実習への取り組み状況等を考慮し、総合的に判断して評価する。
学習上の留意点	<p>家庭科は、家庭生活に必要な知識や技能を身に付けるとともに、暮らしと社会の課題を結びつけて考え、新しい価値観や行動を生み出すことを目指しています。生活の中のあらゆる問題に目を向け見直し、よりよい暮らしと社会を創造してきましょう。</p>

授業計画及び試験計画 [家庭基礎：2年公務員コース]

内 容	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
第1章 生涯を見通す	■	■																																		
第3章 子どもとともに育つ (プレゼンテーション)				■	■	■																														
第9章 経済生活を営む (動画制作)							■	■																												
第10章 持続可能な生活を営む							■	■																												
第7章 衣生活をつくる (被服実習)													■	■	■	■	■	■																		
第6章 食生活をつくる (プレゼンテーション)																			■	■	■	■	■	■												
第8章 住生活をつくる																									■	■										
第4章 超高齢社会を生きる																												■								
第5章 共に生き、共に支える																															■					
第2章 人生をつくる																															■	■				
第11章 これからの生活を創造する																																		■		
凡 例 ■ 授業計画																																				